

# :Atrae

2026年5月 個人投資家向け説明会

株式会社アトラエ  
(東証プライム：6194)



Arai Yoshihide  
**新居 佳英**  
代表取締役CEO

## 経歴

- 1998年3月 上智大学理工学部卒業
- 1998年4月 (株)インテリジェンス(現パーソルキャリア(株))入社
- 2000年7月 同子会社代表取締役社長就任
- 2003年3月 本社にて事業責任者として200人の部下を統括
- 2003年10月 (株)アトラエ設立 代表取締役CEO就任
- 2016年6月 東京証券取引所マザーズ(現グロース市場)に株式を上場
- 2018年6月 東京証券取引所市場第一部(現プライム市場)に市場変更

## 著書

組織の未来はエンゲージメントで決まる  
共著者：松林博文(グロービス経営大学院講師)



# Agenda

1. 会社概要
2. 事業について
3. 2026年9月期通期業績予想
4. 2026年9月期第2四半期実績
5. 株主還元の強化

# Agenda

1. 会社概要
2. 事業について
3. 2026年9月期通期業績予想
4. 2026年9月期第2四半期実績
5. 株主還元の強化

## Our Vision

# 世界中の人々を 魅了する会社を創る

全ての社員が誇りを持てる組織と事業の創造にこだわり、  
関わる人々がファンとして応援したくなるような魅力ある会社で  
あり続けます。そして日本を代表するグローバルカンパニーとして、  
世界中の人々から必要とされる存在を目指します。

独自の事業ドメイン「People Tech」

# People Tech Company

“テクノロジーによって人の可能性を拡げる事業を創造し、  
働きがいや生きがいのある社会を実現する”  
という想いをこめた造語

# アトラエが大切にする考え方

会社 = 関わる全ての人々が  
幸せになるための仕組み



社員



顧客



株主



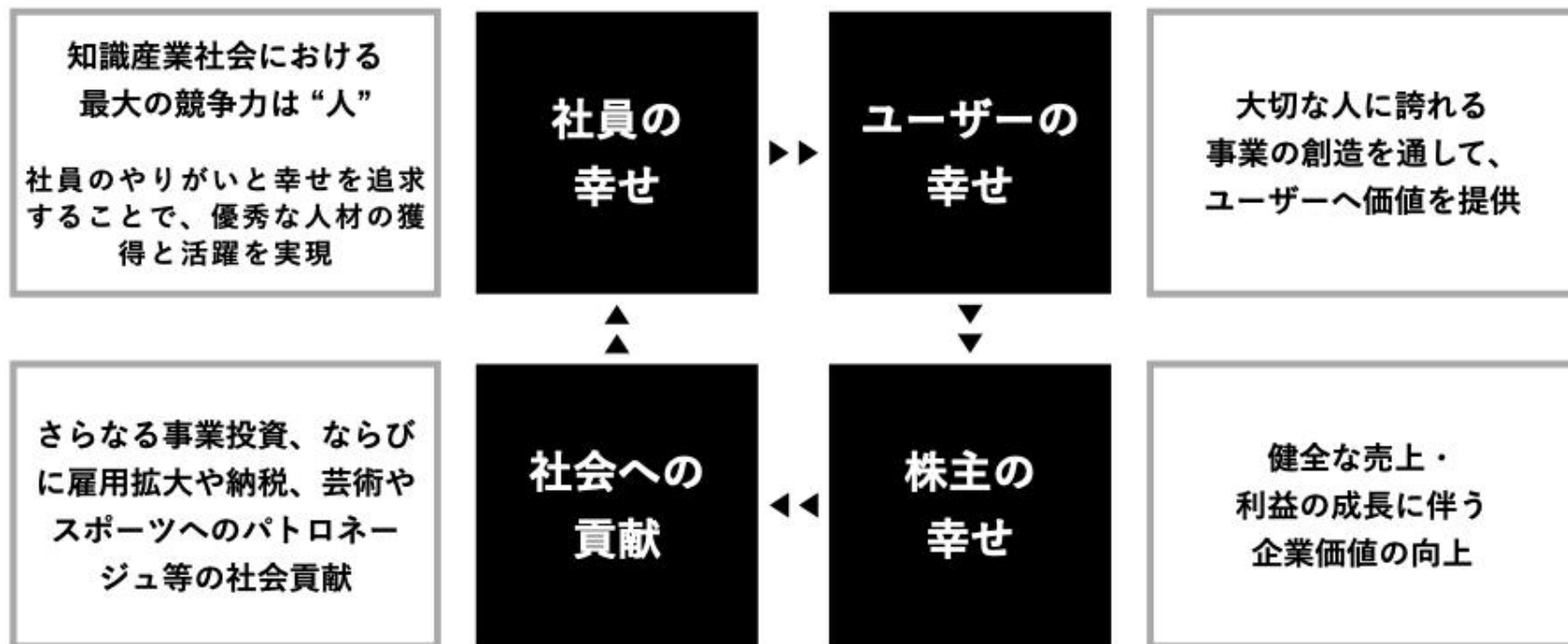
パートナー



… 社会そのもの

# 関わる全ての人々を幸せにするためのサイクル

このサイクルを回し続けながら、関わる人の輪を拡げていくことで  
持続可能な組織づくりを追求し「世界中の人々を魅了する会社」を実現します。



# Agenda

1. 会社概要
2. 事業について
3. 2026年9月期通期業績予想
4. 2026年9月期第2四半期実績
5. 株主還元の強化

# People Tech Product

～HR Techとは一線を画すアトラエの事業～

人と組織の最適な  
“マッチング”への挑戦



Green

IT系人材に強みを持つ  
成功報酬型求人メディア



Qooa

AI キャリアエージェント

チームパフォーマンスの  
“最大化”への挑戦



wevix

組織力向上を支援するプロダクト

# Green



## すべての働く人にGreen Lightを

Green Lightとは、自分の価値観や状況に照らし、「ここだ」と思える方向性を見つけ、主体的に選択した環境を指す。

## IT系人材に強みを持つ 成功報酬型求人メディア

### Point1 業界初の成功報酬型求人メディア

先行優位性から、利用企業・ユーザー共に高い認知度を誇る、業界のリーディングサービス

### Point2 一律の固定料金により安価な採用を実現

職種ごとに設定された一律の固定料金システム。競合サービスと比較しても安価に優秀な人材の採用を実現

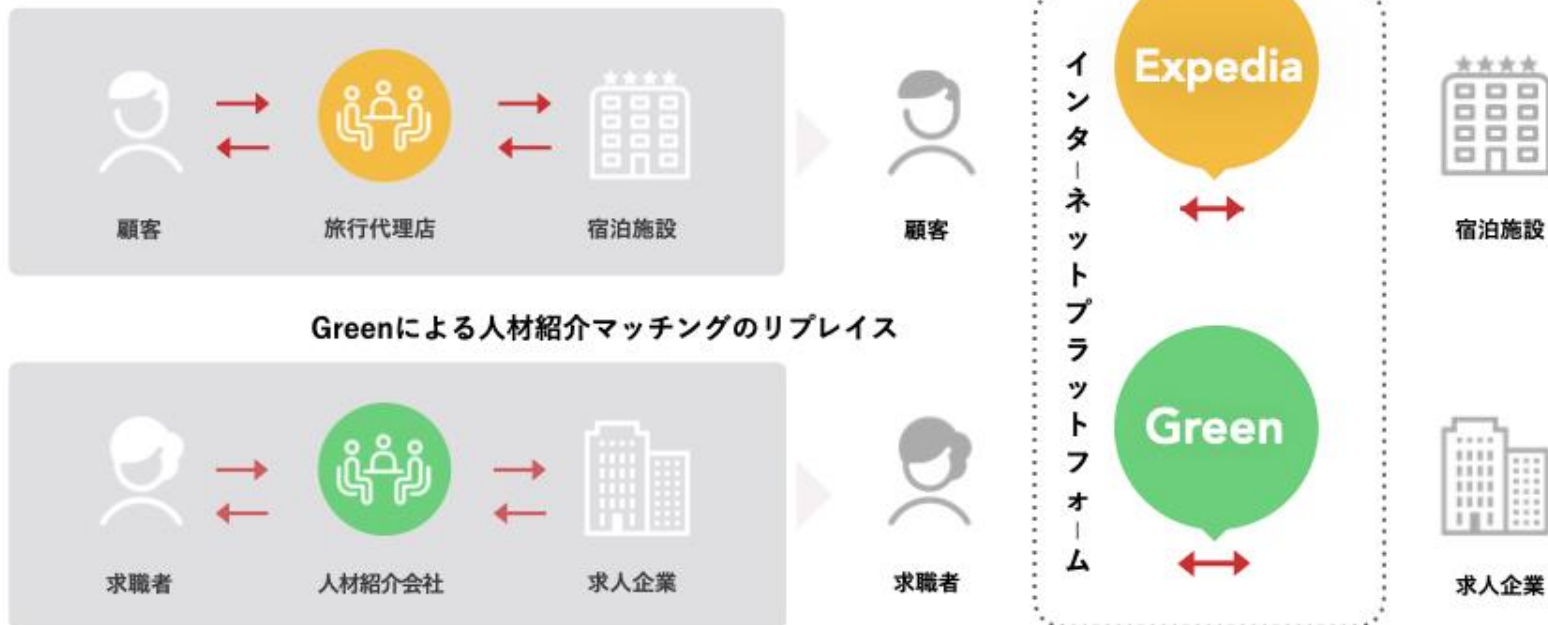
### Point3 独自の非公開情報を蓄積

日本市場特有のクローズドな利用企業・ユーザー双方のデータを保有。生成AIがアクセスできない非公開情報の蓄積が、転職サービスとして選ばれ続ける理由となる

## テクノロジーで効率的なマッチングを実現

あらゆる業界において、従来の労働集約的なビジネスモデルはITの活用でリプレイスされている  
Greenは人材紹介会社が行ってきた求職者と求人企業のマッチングをITによってリプレイス

例：Expediaによる旅行代理店業務のリプレイス

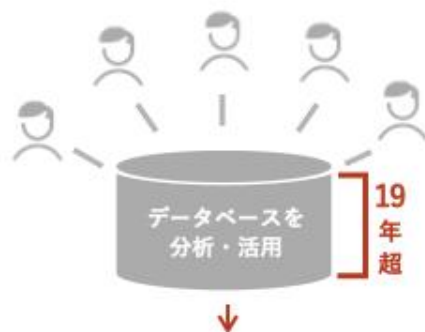


## 独自のポジションを確立したGreen

テクノロジー × 低コスト × 先行優位

### 独自データの蓄積・活用

Greenを通して  
独自データ<sup>※1</sup>を蓄積、活用



独自データの活用により  
高精度のマッチングを実現

### 価格競争力

アドバイザーや施設コストは  
不要であるため低コストを実現



固定費を抱えないビジネス  
圧倒的なコスト競争力を有する

### 圧倒的な先行優位

成功報酬型モデルは  
Greenが先駆け（運営19年超）

累計登録企業数

**11,000** 社超

登録ユーザーID数

**157** 万人超

利用企業・ユーザー共に  
Green認知度は極めて高い

※1 アクションデータ、プロフィールデータ、選考データなど

## 様々な業界×IT化による追い風

IT業界における成長著しい企業の参画が中心でありつつも  
様々な業界でデジタル化が進んでいる。上場に伴う知名度や信用力の向上により  
各業界における著名企業など、利用企業の裾野がますます拡大している

 CyberAgent.

 Akatsuki

 MIXI

 free

 LIFULL

 SoftBank

 HONDA

 FUJITSU

 SOMPO HOLDINGS

Have a good Cashless.  
 SMBC 三井住友カード

 RESONA

 SBI証券

 TOPPAN

 ニトリ  
NITORI

 NTT Communications  
NTTコミュニケーションズ  
NTTコムソリューションズ

 BIGLOBE

 MYNET

 CUC

 朝日新聞

 毎日新聞社

 Cygames

 Gunosy

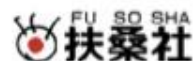
 Mirrativ

 TikTok

 LITALICO  
リタリコ

 bitkey

 KONICA MINOLTA

 FU SO SHA  
扶桑社

 Nestlé. Good food. Good life.

 J!NS

 JCB  
世界にひとつ。あなたにひとつ。

 HINO

 セブン銀行

 Rakuten 楽天銀行

 KITAGAS

 UPSIDER

## KPIの定義

KPI	定義	期間
アクティブユーザー数	Greenに登録する求職者のうち1ヶ月に1回以上ログインを行っている求職者の数	月次（四半期の最後の月）ユニーク
四半期アクティブユーザー数	Greenに登録する求職者のうち四半期に1回以上ログインを行っている求職者の数	四半期（3ヶ月）ユニーク
応募人数	Greenに登録する求職者のうち四半期に1回以上応募を行っている求職者の数	四半期（3ヶ月）ユニーク
応募率	応募人数 ÷ 四半期アクティブユーザー数	四半期（3ヶ月）ユニーク
書類選考通過率	書類選考通過件数 ÷ 応募件数	四半期（3ヶ月）合計
入社人数	Greenに登録する求職者のうち四半期に入社をした求職者の数	四半期（3ヶ月）合計

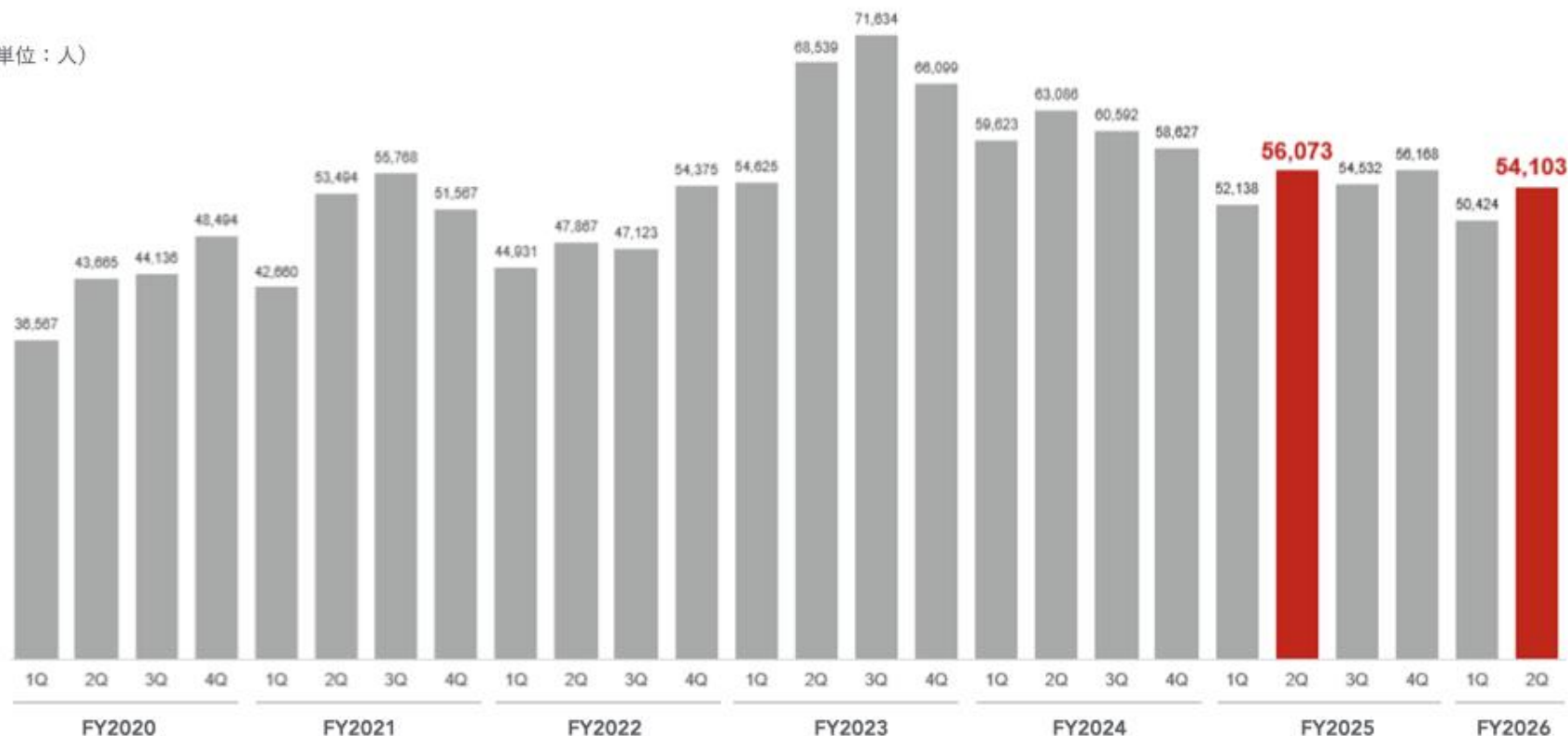
※ 「ユニーク」の説明：1人の求職者が、四半期の各月にログインを行った場合、四半期アクティブユーザー数では1人と数える

## 投資効果を見極めた上でWeb広告を積極化 ターゲット人材の獲得を継続

### アクティブユーザー数

前年同期比  $\Delta$ 3.5%

(単位：人)



※アクティブユーザー数：Greenに登録する求職者のうち1か月に1回以上ログインを行っている求職者の数  
グラフの数値は四半期の最後の月のアクティブユーザー数

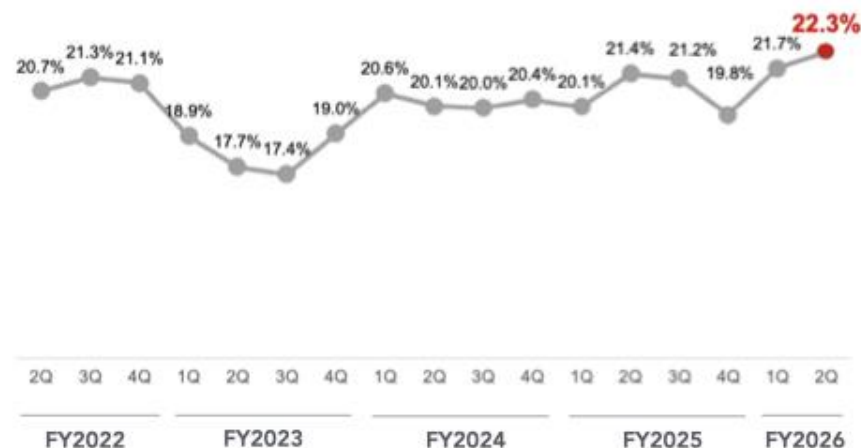
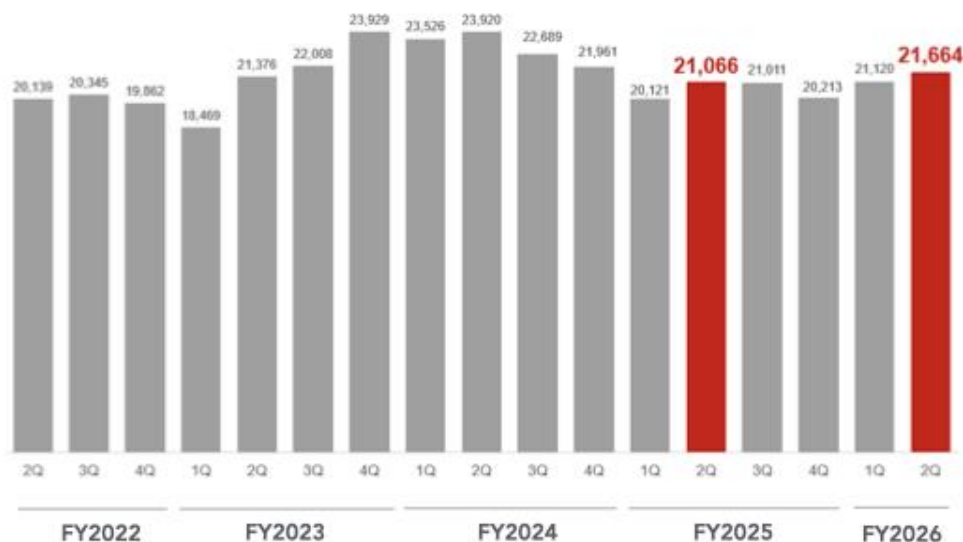
## ターゲット人材の獲得継続により応募人数はYonY+2.8% 応募率は過去最高の22.3%を記録

### 応募人数

前年同期比 +2.8%

### 応募率

(単位：人)



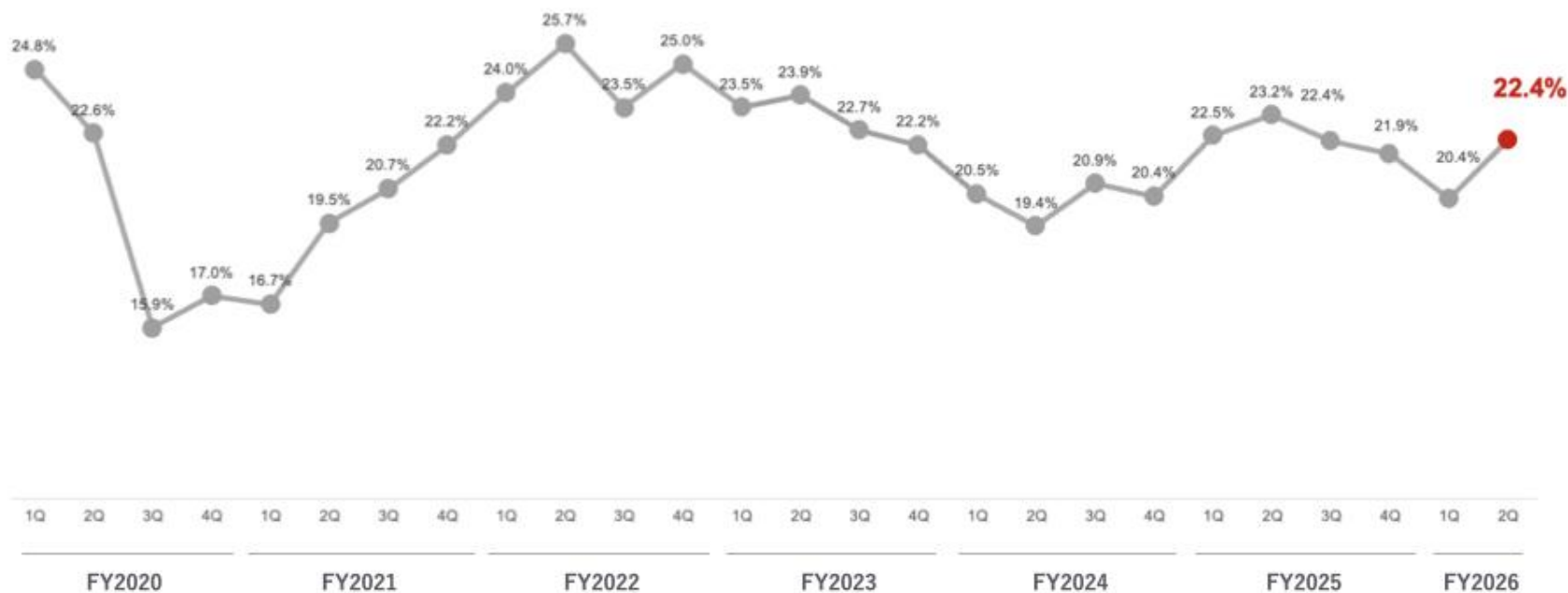
※1 応募人数：Greenに登録する求職者のうち四半期に1回以上応募を行っている求職者の数（ユニーク）

※2 応募率：応募人数 ÷ 四半期アクティブユーザー数

※3 四半期アクティブユーザー数：Greenに登録する求職者のうち四半期に1回以上ログインを行っている求職者の数（ユニーク）

## ターゲット人材の確保に加え、Green AI等のプロダクト改善により、書類選考通過率が2.0pt向上

### 書類選考通過率



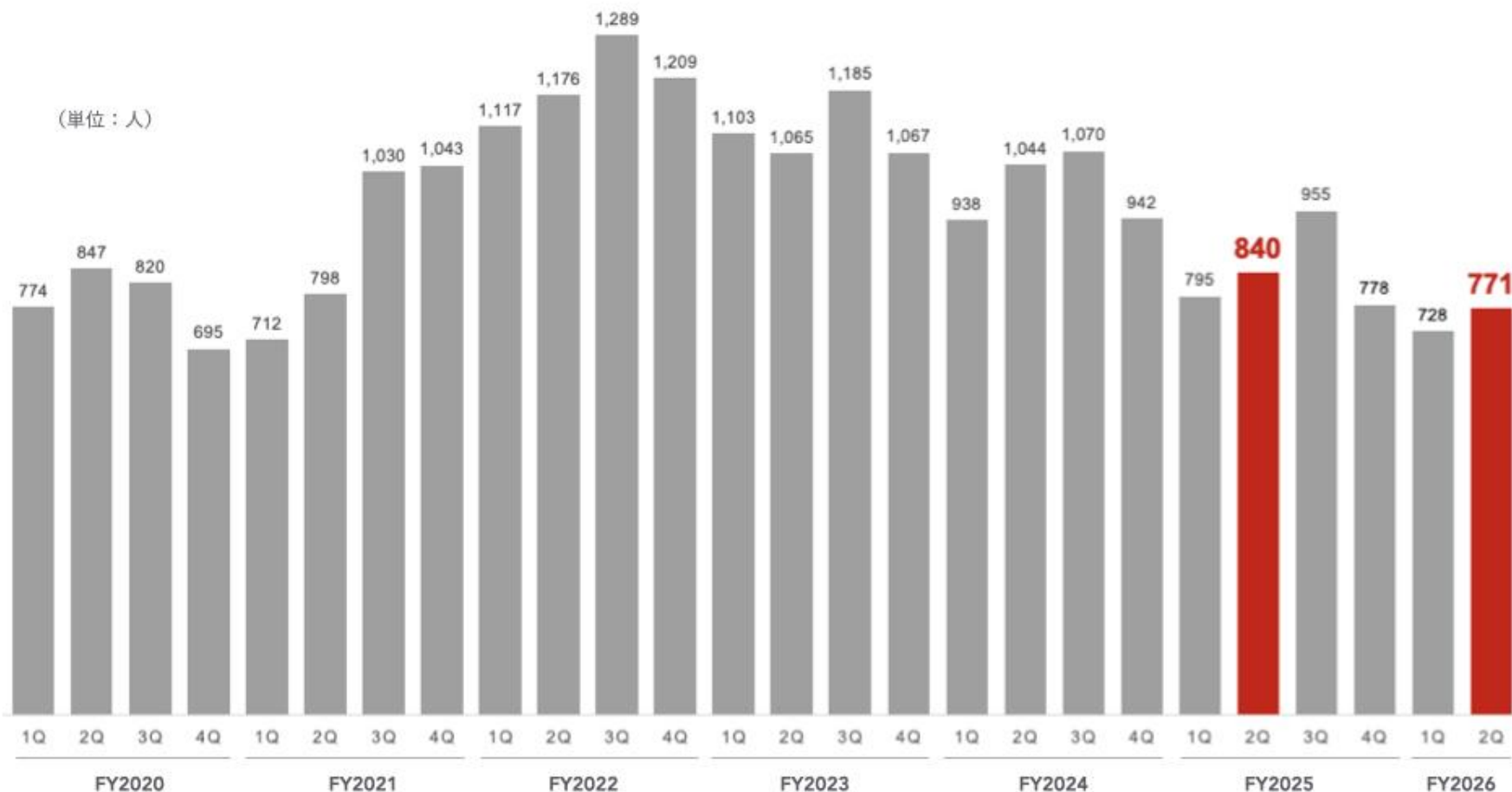
※ 書類選考通過率：書類通過件数 ÷ 応募件数

## 書類選考通過率の改善遅延により入社人数はYonY△8.2%

入社人数（四半期比較）

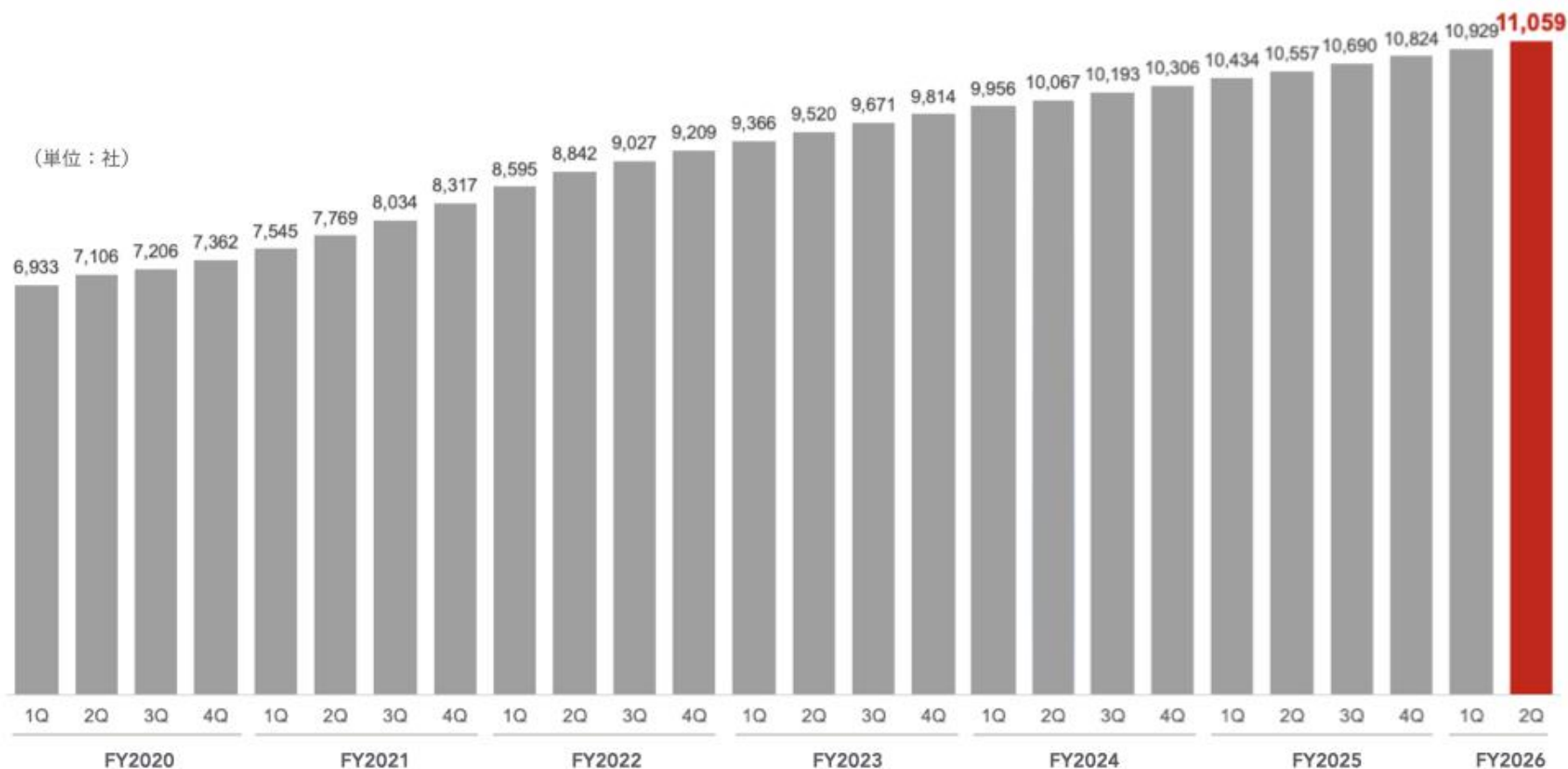
前年同期比 △ 8.2%

(単位：人)



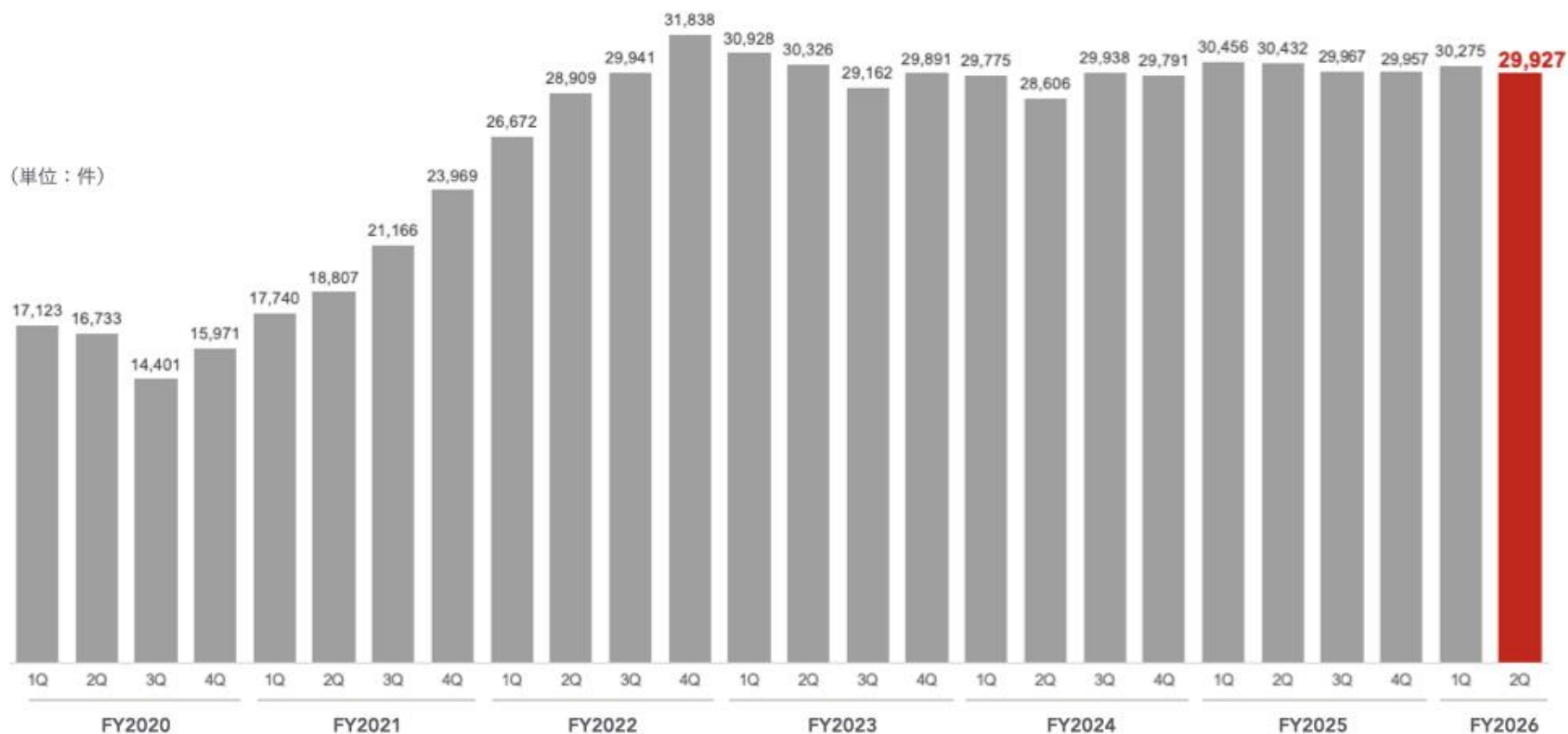
## 登録企業数は右肩上がりで推移

累計登録企業数



## 期末掲載求人数は30,000件前後で推移

### 期末掲載求人数



## KPIの状況整理

KPI	現状	更なる成長を追求するための施策
アクティブユーザー数	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web広告のポートフォリオ最適化を継続的に追求</li> <li>● 量よりも質を重視した戦略により、ターゲット人材の獲得を継続</li> </ul>
応募人数・応募率	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 19年以上に渡り蓄積してきた独自のデータとGreen AIによって、求職者にとってマッチング確度の高い求人情報をレコメンド。その理由や背景も説明する事で納得感を醸成し応募を促進</li> <li>● 一部集客経路の再開により応募率は上昇</li> </ul>
書類選考通過率	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Green AIを軸とした新機能開発や転職・採用体験の改善効果が徐々に現れ始めている</li> <li>● 求職者・採用企業の特徴をスコア化することで、マッチング効率の最適化を図る</li> <li>● 求職者の情報拡充施策により、書類選考通過率改善を目指す</li> <li>● 一方で、転職意欲の高いユーザーを集めるも、自己応募の増加により書類選考通過率は微減で推移</li> </ul>
累計登録企業数	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産性を意識したインバウンドセールスにより着実な積み上げの継続を目指す</li> <li>● 戦略的に魅力的な求人企業の獲得を目指す</li> </ul>
期末掲載求人数	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在の水準でも、入社人数を成長させることは十分可能であるものの、戦略的に魅力的な求人の獲得を目指す</li> </ul>
入社人数	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Green AIによる求職者情報の拡充とそれに伴う面接対策支援により、面接通過確率、入社確率の向上を追求</li> <li>● Web広告のポートフォリオ最適化、UI/UX改善に加えて、求職者・採用企業の特徴をスコア化することでマッチング効率の最適化を図り、顧客体験価値向上を推進。再び成長局面を目指す</li> </ul>

## Greenの成長性

人材紹介市場は拡大を続けながらも、書類選考通過率の改善遅延によりGreenの占有率は減少  
Qooaを新たな武器に、Green×Qooaで、人と企業の最適かつ理想のマッチング体験を生み出し、  
マーケットシェア獲得を目指す

	人材紹介市場規模	Green換算市場規模 <sup>※1</sup>	Greenの占有率 <sup>※2</sup>
全業界	4,490億円 <sup>※3</sup> (4,110億円) <sup>※4</sup>	2,690億円 (2,460億円)	1.3% (1.7%)
IT業界	1,340億円 <sup>※5</sup> (1,230億円)	800億円 (730億円)	4.5% (5.9%)

※1 Greenは人材紹介のディスカウントモデル（約60%）

※2 Greenの成功報酬売上36億円（FY2025実績）として算定

※3 出典：株式会社矢野経済研究所「2025年版 人材ビジネスの現状と展望」

※4 下段括弧書きは前年実績

※5 全人材紹介市場のうち約30%がIT関連と当社推定

# 転職を、 AIと考える



AI キャリアエージェント

# Qooa

たった10分の対話で  
人智を超えたマッチングを実現

# 対話データから高精度・高次元に人材を評価し、 多様なキャリア機会とのマッチングを実現する

GreenのデータとHRビジネスの知見 × AIで、人智を超えるキャリアエージェントを開発



業界知識やキャリアに  
特化した膨大なデータを  
RAG化 ※1



少ない対話で  
人材の魅力・特性・価値観を  
引き出す



非構造化データ ※2  
から人材の能力・特性などを  
高次元に評価

※1 RAG化 (Retrieval-Augmented Generation) : 蓄積知識を検索連携し、AI活用を高度化する手法

※2 非構造化データ : 形式が定まらない文章・音声などの情報

# 高い付加価値 × 高い収益性 × 優良顧客基盤 による 非連続な成長を実現する

1

## 人智を超えた 高い付加価値

独自のノウハウと技術で  
アナログな人材紹介以上の高い  
付加価値を実現する

2

## 収益性の高い ビジネスモデル

完全成功報酬型モデル  
(理論年収の30%程度)  
多数の社員を雇用する必要のない  
非労働集約モデル

3

## 優良顧客基盤の活用

1万社以上あるGreenの顧客に加えて、  
日本を代表する成長企業を中心に顧客  
基盤を構築する

Qooaを新たな武器に、Green×Qooaで、  
人と企業の最適かつ理想のマッチング体験を生み出し、  
マーケットシェア獲得を目指す



Green



Qooa

# wevox



## エンゲージメント

組織に対する自発的な貢献意欲や、主体的に仕事に取り組んでいる心理状態を評価したもの。学術的に企業業績との因果関係が立証されている



## 組織力向上を支援するプロダクト

### Point1 エンゲージメントの可視化

エンゲージメントに関して、国内第一人者である慶應義塾大学島津教授の監修に基づき、日本で初めてエンゲージメントの可視化を実現

### Point2 テクノロジーの活用

収集した膨大なデータを自動で分析し、組織の課題を即時に把握可能に

### Point3 希少な独自データの活用により組織変革を支援

希少な独自データを武器に、生成AIには代替不可能な「実践」までを強力に支援・伴走する垂直統合型プラットフォーム





## AI時代におけるWevoxの競争優位性

### 希少な独自データの蓄積

希少な  
独自データ  
×  
生成AI

- 生成AIでは代替できない「従業員のリアルな回答」による正確な組織状態の把握
- 国内最大級となる**4億5,000万件超の希少な独自データと生成AI**を掛け合わせ、唯一無二の価値へ

### 組織変革までを支援

 たずねる  
.....  
 わかる  
.....  
 はなす  
.....  
 できる

- 現状把握（点）に留まらず、**具体的な組織変革の実践（線）**まで一気通貫で支援
- 各種ツールの統合により、一人ひとりの自律的な組織改善（行動変容）を促進

## 希少な独自データを武器に、生成AIには代替不可能な「実践」までを強力に支援・伴走する垂直統合型プラットフォーム

### たずねる



チームや個人の状態を簡単かつ即時に見える化



エンゲージメント計測



組織カルチャー調査



個人特性診断



ストレスチェック



カスタムサーベイ

### わかる



チームや個人の状態をAIの分析から理解し、気づきを得る



組織分析



チーム分析



個人分析



他社との比較



AIアナリティクス

### はなす



良質な対話によりお互いの理解を深める、対策を検討する



デジタルホワイトボード



対話活性化テンプレート



AIサポート

### できる



気づきや学びをもとに自分たちの行動をアップデートする



研修資料



チャットサポート



オンラインアカデミー



動画学習トレーニング



無料セミナー



他社との交流

## AIが組織の状態や変化を瞬時に分析し、レポートを自動生成

**チーム分析モード**

Product Area

Product Areaのチーム分析レポートを作成いたしました。

Product Area チーム分析レポート (2026年4月)

### レポートの要約

Product Areaの総合スコアは「84」と、非常に高い水準で安定しています。チームとして極めて強固なエンゲージメントの基盤を維持できていると言えます。

一方で、詳細を分析すると以下の傾向が見受けられます。

- 強み: 依然として高いスコアを維持しており、組織としての安定感があります。
- 懸念点: 「達成感」や「ストレス反応」が直近で低下傾向にあります。高いパフォーマンスを

1. エグゼクティブサマリー

Product Areaの総合スコアは「84」と、非常に高い水準で安定しています。直近3回の配信においてもスコアの変動がなく、チームとして極めて強固なエンゲージメントの基盤を維持できていると言えます。特に「ミッション・ビジョンへの共感」や「キャリア機会の提供」といった項目が際立って高く、チーム全体が目指すべき方向性を深く理解し、自身の成長と組織の発展を重ね合わせることができている状態です。

一方で、時系列の変化に目を向けると、いくつかの項目で緩やかな低下傾向が見られます。「達成感」や「ストレス反応」が直近でスコアを落としており、高いパフォーマンスを維持し続ける中で心理的な負荷や、成果に対する手応えの薄れが示唆されます。全社平均やベンチマークと比較しても、これらの項目には改善の余地があり、チームの持続可能性を高めるための対話が必要な時期に来ていると読めます。

エンゲージメントスコア

Product Area 2026/04/20(月) 〇 報告

B+ 84

メッセージ

Shift + Returnで送信

AIの回答は参考情報です。ご利用の際は必ずご自身でも内容をご確認ください。

## Wevox専用のデジタルホワイトボードで組織の対話を活性化

The screenshot displays the Wevox digital whiteboard interface for a 'Sprint Retrospective' session. The interface is divided into several key areas:

- Top Bar:** Contains the title '[Wevox Form] Sprint Retrospective!' and various utility icons like search, zoom, and refresh.
- Left Sidebar:** Features a 'Good job!' section with a 'What' card and a 'Good job, を褒めて実際に褒めてメッセージを送ろう!' (Let's send a message praising them in reality!) prompt. Below this are several sticky notes and icons.
- Main Workspace:** The central area is filled with numerous colorful sticky notes (yellow, orange, green, purple) and diagrams. A prominent section titled 'DO THIS' includes a 'みんなやろうよ!' (Let's all do it!) prompt and a flowchart. Other sections include 'DON'T DO THIS' and 'DO THIS AGAIN'. A small cartoon character is visible in the top left of the workspace.
- Right Sidebar:** Displays a video call with four participants, their names, and a '今スプリント' (Current Sprint) indicator.
- Bottom Bar:** Includes a date and time indicator '2025/12/5 : Retrospective', a toolbar with drawing and editing tools (eraser, highlighter, text, shapes), and a zoom control set to 21%.

## 誰もが組織力向上を実現できる実践サポート 現状把握で終わらずに、現場主導の組織改善を強力に支援

他社との交流を組織課題の解決に繋げ、学び合いから新たな価値へ



実践的なスキルや事例を  
共に学ぶオンラインアカデミー



コース形式で体系的に学べる  
動画学習プログラム



社内研修等で使える  
ワークショップ用テンプレートの提供



## 顧客価値の最大化に向けた料金プランの刷新

スタンダードプラン（600円/月）が新機能追加によりチームサクセスプラン（600円/月）へ進化  
ベーシックプラン（300円/月）の提供を終了し、有料プランを一本化

エンゲージメントの可視化に留まらず、オンラインアカデミーや動画学習トレーニング等「学び」を標準的なプランに組み込む事により、自律的な組織力向上をサポート

		Team Success Plan
		600円/月
たずねる	エンゲージメント	○
	特性・組織カルチャー・ストレス	○
	カスタム	○
わかる	組織分析	○
	チーム分析	○
	個人分析	○
	AIアナリティクス	○
はなす	デジタルホワイトボード	○
	対話テンプレート・AIサポート	○
できる	Wevoxカスタマーサクセス	○
	チャット形式のAIサポート	○
	オンラインアカデミー	○
	動画学習トレーニング	○



### プロダクトオプション

より高度な各種機能を提供

### 活用支援オプション

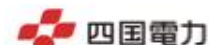
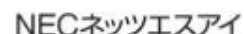
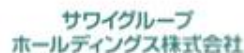
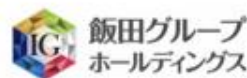
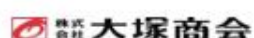
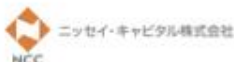
組織力向上のための  
各種研修、分析補助など  
のプロジェクト推進支援  
を提供

(\*1) 2025年11月1日以降の新規契約よりチームサクセスプランを提供開始。既存顧客については、2026年3月末までの移行期間を経た後、2026年4月1日より原則としてチームサクセスプランへ一本化される

(\*2) チームサクセスプランは月額9万円から利用可能（150名まで。150名未満の利用の場合でも月額9万円が発生。151名以降は1名あたり月額600円で追加利用が可能）

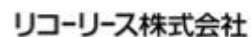
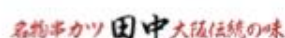
## 様々な業界でWevoxの導入が促進

Wevox導入企業はIT、証券、銀行、医療、飲食、スポーツチームなどの様々な業界・業種にわたり  
**4,300**<sup>\*</sup>を超える企業・組織が導入。導入社数の増加以上に会員数の成長が加速



※ Wevoxランディングページより抜粋 (2026年5月14日現在)

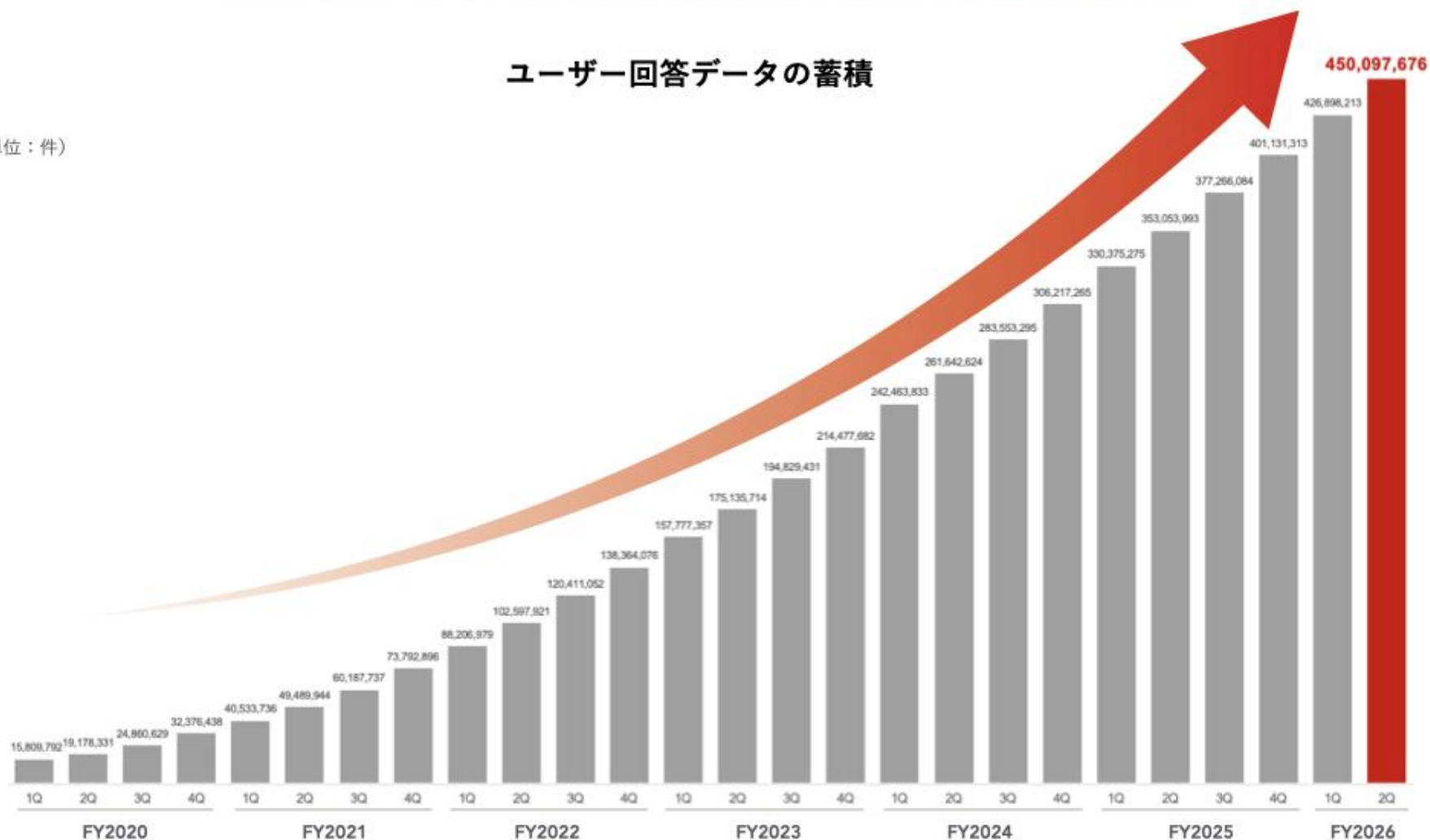
## 人的資本の開示について Wevoxのエンゲージメントスコアを活用する事例が増加



## 希少な独自データの蓄積により、 AI時代においても揺るがない競争優位性を確立

### ユーザー回答データの蓄積

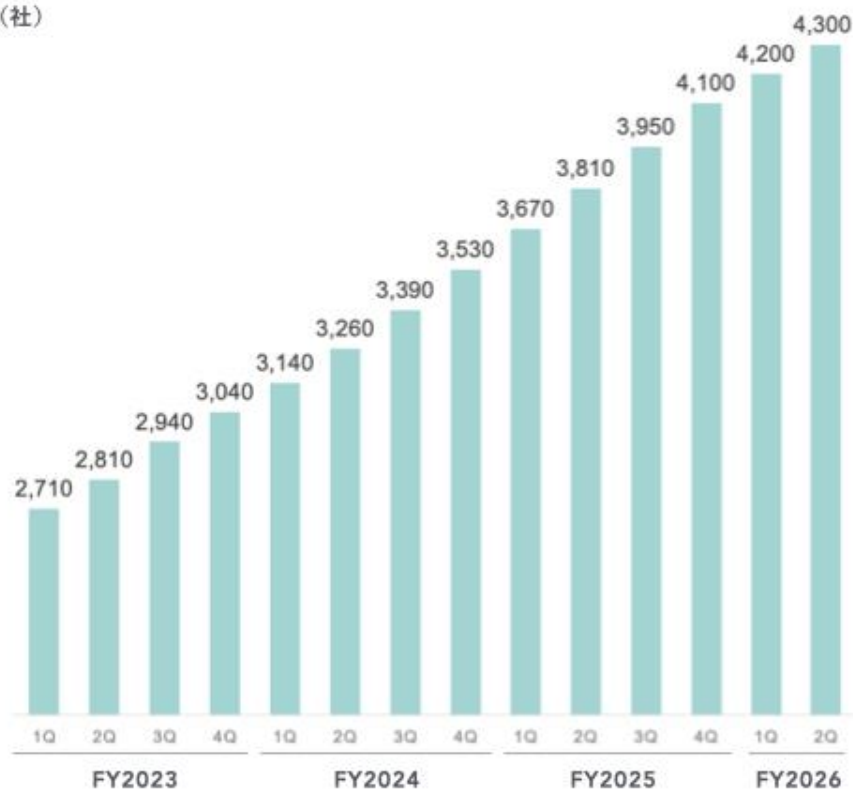
(単位：件)



## 1,029百万円 (YonY+43.3%) の売上高を達成

### 導入社数の推移

(社)



### 売上高の推移

YonY +43.3%

10月-2月の月次チャーンレートは1%未満  
3月は料金プランの刷新に伴い約5%

(百万円)



三井住友FGとの合併会社  
「SMBC Wevox 株式会社」の  
売上貢献により更なる成長加速を追求

ユーザーとしての体験を基に  
全国5万社のSMBCグループの  
クライアントにアプローチ

既存の販路

主にインバウンドに  
よる流入のみ

東名阪100以上の  
営業所による  
アウトバウンドセールスを展開

SMBCグループの全従業員  
約10万人による  
Wevoxの利用

## SMBCグループによる 積極的なアウトバウンドセールスにより 日本全国規模での顧客獲得が加速



## Wevoxの成長性

### 対象者

全ての就業者  
**6,725** 万人 ※1

幅広い業界のみならず、  
スポーツ、教育機関にも拡大

### 圧倒的な価格競争力

月額1人  
**600** 円という低単価

SaaSモデルにより、  
幅広い顧客の獲得を目指す

### 潜在的な市場規模

年間  
**4,800** 億円超 ※2

Wevoxの単価上昇に  
よる市場規模拡大も追求

※1 総務省統計局

※2 全就業者人数6,725万人×単価600円×12ヶ月=4,842億円として試算

※3 2025年11月1日以降の新規契約よりTeam Success Plan（単価600円）を提供開始。既存顧客については、2026年3月末までの移行期間を経た後、2026年4月1日より原則としてTeam Success Planへ一本化される

# Agenda

1. 会社概要
2. 事業について
- 3. 2026年9月期通期業績予想**
4. 2026年9月期第2四半期実績
5. 株主還元強化

# 今後の成長戦略と資本政策

## 成長戦略



- Green AI\*を含むプロダクト改善の継続に加え、再成長のために段階的に広告宣伝を強化
  - Qooaを新たな武器に、Green×Qooaで、人と企業の最適かつ理想のマッチング体験を生み出し、マーケットシェア獲得を目指す
- \*Green AI：採用・転職活動を支援するために機械学習や生成AI等を用いた機能



- AIエージェント機能の実装による付加価値の向上
- 更なる成長加速を見据えて、Web広告での認知向上により顧客獲得を後押し
- SMBCグループの役職員がユーザーとしての体験を基に全国5万社のクライアントにアプローチ。東名阪100以上の営業所によるアウトバウンドセールスを展開

## 資本政策

### 現状

- 今後の成長投資を実現する自己資本を十分確保している状況
- 企業価値向上に資する成長投資と株主還元を両立していく
- ROE/ROICの目標水準は20%以上 (\*1) (\*2)

### 方針

FY2025 (実績) **ROE 26.0% / ROIC 25.7%** FY2026 (予想) **ROE 17.3% / ROIC 15.7%**

プライム市場の全産業平均ROE (9.26%)、非製造業平均ROE (10.45%) を上回る水準 (\*3)

- Debtの有効活用により、成長資金を確保しつつ最適な資本構成を追求  
資本コストの低減とROE/ROICの持続的な向上を目指す

### 取組み

- FY2025の自己株式取得を併せた総還元性向は154.7%
- FY2026は1株当たり**33円 (2円増配)**の期末配当を公表
- 資本政策の柔軟性と機動性向上、分配可能額充実のため、資本金を5億円、資本準備金を1.25億円まで減少。その他資本剰余金に約21億円を振り替え (勘定科目間の振替処理であり純資産額に変更なし)

(\*1) ROE：当期純利益÷自己資本 (\*2) ROIC：NOPAT (営業利益×(1-法定実効税率30.62%)) ÷ (自己資本+有利子負債)

[a] 自己資本：純資産-新株予約権 [b] 自己資本と有利子負債：期首期末平均

[c] 自己資本 (FY2026)：純資産 (FY2025) - 新株予約権 (FY2025) + 予想純利益 (FY2026) - 配当金総額 (FY2025)

(\*3) 日本取引所グループ「決算短信集計結果」2024年度 (2024年4月期~2025年3月期) より抜粋。集計対象には、金融業、変則決算である会社、新規上場会社等は含まれていない

# 2026年9月期 通期業績予想

Green AI を含むプロダクト改善の継続に加え、再成長のために段階的に広告宣伝を強化  
Qooaを新たな武器に、Green×Qooaで人と企業の最適かつ理想のマッチング体験を生み出し、  
マーケットシェア獲得を目指す

WevoxはAIエージェント機能による付加価値向上とSMBC Wevoxによる  
本格的な売上貢献により、2期連続で約30%の売上成長を目指す

(百万円)	FY2026	FY2025	増減額	増減率
売上高	8,600	7,634	+966	+12.7%
Green	4,430	4,425	+5	+0.1%
Wevox	4,125	3,154	+971	+30.8%
その他	45	55	△10	△18.2%
営業費用	7,500	5,781	+1,719	+29.7%
売上原価	73	253	△180	△71.1%
Green広告	2,580	2,284	+296	+13.0%
Wevox広告	762	436	+326	+74.8%
人件費	1,984	1,406	+578	+41.1%
(うち株式報酬費用)	(372)	(320)	(+52)	(+16.3%)
その他	2,101	1,402	+699	+49.9%
営業利益	1,100	1,853	△753	△40.6%
(株式報酬控除前営業利益)	(1,472)	(2,173)	(△701)	(△32.3%)
営業利益率	12.8%	24.3%	-	△11.5pt
(株式報酬控除前営業利益率)	(17.1%)	(28.5%)	(-)	(△11.5pt)
期末配当予想 (1株当たり)	33円	31円	+2円	+6.5%

\* 株式報酬控除前営業利益は、財務会計上の営業利益にキャッシュ・フローを伴わない費用である株式報酬費用を足し戻したものの

# Agenda

1. 会社概要
2. 事業について
3. 2026年9月期通期業績予想
- 4. 2026年9月期第2四半期実績**
5. 株主還元強化

# 2026年9月期 第2四半期 実績

2026年9月期  
2Q累計

売上高	<b>3,821</b> 百万円	YoY	<b>+7.2</b> %	開示計画進捗	<b>44.4</b> %
営業利益	<b>568</b> 百万円	YoY	<b>△17.2</b> %	開示計画進捗	<b>51.6</b> %

Business

- Greenの2Q売上高はYoY△6.1%
- ターゲット人材の確保に加え、Green AI等のプロダクト改善により、書類選考通過率が2.0pt向上
- Wevoxは計画を上回る**1,029百万円 (YoY+43.3%)** を達成  
希少な独自データの蓄積により、AI時代においても揺るがない競争優位性を確立
- Wevoxが大幅アップデート。本格的に組織力向上を支援するプロダクトへ
- Wevoxの料金プラン刷新は想定通り進捗し、単価向上の見通し
- Qooaは4Qの正式リリースに向けて、限定したユーザーを対象にテストマーケティングを実施
- 2Q累計営業利益のYoY減少要因は、Wevoxの新機能開発、Wevox広告宣伝費、Green広告宣伝費、社員の給与水準の向上や採用に伴う人件費等の人的資本投資。投資実行は計画に対して順調に進捗
- 当社株式への投資魅力を高めるべく株主優待を導入
- FY2026は個人投資家向け説明会を合計6回開催予定

Topics

成長戦略

資本政策

# 売上高詳細

Greenの2Q売上高はYonY△6.1%

Wevoxの2Q売上高は計画を上回る**1,029百万円 (YonY+43.3%)** を達成

(百万円)	前年同期比			前四半期比		前年同期比		
	FY2026 2Q	FY2025 2Q	増減率	FY2026 1Q	増減率	FY2026 2Q累計	FY2025 2Q累計	増減率
売上高	2,063	1,822	+13.2%	1,758	+17.3%	3,821	3,564	+7.2%
Green	1,023	1,090	△6.1%	958	+6.8%	1,981	2,116	△6.4%
Wevox	1,029	718	+43.3%	789	+30.4%	1,818	1,419	+28.1%
その他	11	14	△21.4%	11	+0.0%	22	29	△24.1%
営業費用	1,665	1,503	+10.8%	1,588	+4.8%	3,253	2,878	+13.0%
営業利益	398	319	+24.8%	170	+134.1%	568	686	△17.2%
(株式報酬控除前営業利益)	(470)	(400)	(+17.5%)	(247)	(+90.3%)	(717)	(852)	(△15.8%)
営業利益率	19.3%	17.5%	+1.8pt	9.7%	+9.6pt	14.9%	19.2%	△4.3pt
(株式報酬控除前営業利益率)	(22.8%)	(22.0%)	(+0.8pt)	(14.1%)	(+8.7pt)	(18.8%)	(23.9%)	(△5.1pt)

\* 株式報酬控除前営業利益は、財務会計上の営業利益にキャッシュ・フローを伴わない費用である株式報酬費用を足し戻したものの

# 営業費用詳細

Wevoxのスポット売上および新機能開発に関する原価を一時的に計上  
営業費用全体ではYoY+10.8%と戦略的投資は順調に進捗

(百万円)	前年同期比					前年同期比				
	FY2026 2Q	売上高 比率	FY2025 2Q	売上高 比率	増減率	FY2026 2Q累計	売上高 比率	FY2025 2Q累計	売上高 比率	増減率
売上高	2,063	100.0%	1,822	100.0%	+13.2%	3,821	100.0%	3,564	100.0%	+7.2%
営業費用	1,665	80.7%	1,503	82.5%	+10.8%	3,253	85.1%	2,878	80.8%	+13.0%
売上原価	165	8.0%	20	1.1%	+725.0%	179	4.7%	41	1.2%	+336.6%
販管費										
Green広告	653	31.7%	562	30.8%	+16.2%	1,251	32.7%	1,119	31.4%	+11.8%
Wevox広告	149	7.2%	176	9.7%	△15.3%	315	8.2%	244	6.8%	+29.1%
人件費	343	16.6%	371	20.4%	△7.5%	746	19.5%	729	20.5%	+2.3%
(うち株式 報酬費用)	(72)	(3.5%)	(81)	(4.4%)	(△11.1%)	(149)	(3.9%)	(166)	(4.7%)	(△10.2%)
その他	355	17.2%	374	20.5%	△5.1%	762	19.9%	745	20.9%	+2.3%
営業利益	398	19.3%	319	17.5%	+24.8%	568	14.9%	686	19.2%	△17.2%
(株式報酬控除前営業利益)	(470)	(22.8%)	(400)	(22.0%)	(+17.5%)	(717)	(18.8%)	(852)	(23.9%)	(△15.8%)

\* 株式報酬控除前営業利益は、財務会計上の営業利益にキャッシュ・フローを伴わない費用である株式報酬費用を足し戻したものの

# Agenda

1. 会社概要
2. 事業について
3. 2026年9月期通期業績予想
4. 2026年9月期第2四半期実績
5. 株主還元の強化

# 株主還元・株主優待

自己株式の取得及び消却を2026年2月～3月に実施（発行済株式総数に対する割合3.0%）<sup>(\*1)</sup>

より多くの株主の皆様の中長期的に当社株式を保有いただくことを目的として  
当社株式への投資魅力を高めるべく株主優待を導入

	FY2023 (実績)	FY2024 (実績)	FY2025 (実績)	FY2026 (予想)
配当金総額 <sup>(*2)</sup>	-	504百万円 (1株当たり21円)	707百万円 (1株当たり31円)	736百万円 (1株当たり33円) (※見込み)
配当性向 <sup>(*3)</sup>	-	72.2% ( <sup>(*4)</sup> )	62.8%	97.4% (※見込み) プライム市場 全産業平均 36.3% <sup>(*6)</sup>
自己株式の取得及び消却	999百万円 (2023年5月決議)	1,301百万円 (2024年2月決議486百万円 +2024年8月決議815百万円)	1,104百万円 (2025年2月決議459百万円 +2025年8月決議645百万円)	500百万円 (2026年2月決議)
総還元性向 <sup>(*5)</sup>	298.9% ( <sup>(*4)</sup> )	246.4% ( <sup>(*4)</sup> )	154.7%	163.6% (※見込み)

## 株主優待制度

新設

<sup>(\*1)</sup> 700,000株÷発行済株式総数23,015,341株（700,000株の自己株式の取得・消却を考慮しない）

<sup>(\*2)</sup> 配当金総額：1株当たり配当金×発行済株式総数22,315,341株（FY2026は700,000株の自己株式の取得・消却を考慮）

<sup>(\*3)</sup> 配当性向：1株当たり配当金÷1株当たり当期純利益（FY2026は700,000株の自己株式の取得・消却を考慮） <sup>(\*4)</sup> 2023年9月期及び2024年9月期は連結ベース

<sup>(\*5)</sup> 総還元性向：（配当金総額+自己株式の取得総額）÷当期純利益

<sup>(\*6)</sup> 日本取引所グループ「決算短信集計結果」2024年度（2024年4月期～2025年3月期）より抜粋。集計対象には、金融業、変則決算である会社、新規上場会社等は含まれていない。  
プライム市場の全産業平均36.25%を四捨五入

# 株主還元・株主優待

継続的な増配と自己株取得・消却に加え、株主優待を導入  
多層的な株主還元・株主優待により株主価値を最大化

FY2023 → FY2024 → FY2025 → FY2026

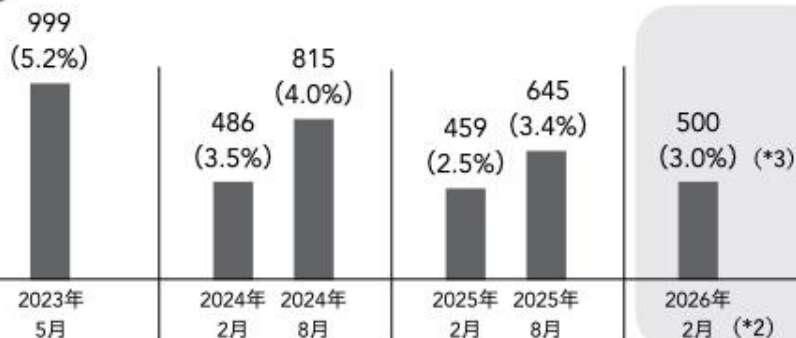
総還元性向

298.9%      246.4%      154.7%      163.6% (\*1)

## 1 1株当たり配当額 (単位：円)



## 2 自己株取得・消却 (単位：百万円)



## 3 株主優待

- 2026年10月末より開始
- 初年度は継続保有の制限なし
- ポイントは特設ウェブサイトにおいて電子マネーや商品等と交換可能 (\*4)

保有株式数	株主優待pt	配当利回り	優待利回り	総合利回り (*5)
2,000株～	30,000pt	5.1%	～2.3%	～7.4%
1,500株～	25,000pt		～2.6%	～7.6%
1,000株～	12,000pt		～1.8%	～6.9%
900株～	8,000pt		～1.4%	～6.4%
800株～	8,000pt		～1.5%	～6.6%
700株～	8,000pt		～1.8%	～6.8%
600株～	5,000pt		～1.3%	～6.3%
500株～	3,000pt		～0.9%	～6.0%

\*4 電子マネーは1ポイント=1円相当で交換可能 (詳細は2026年5月14日付「株主優待制度の新設に関するお知らせ」をご参照ください)

\*5 各利回りは2026年5月7日終値653円で算出 (今後の株価変動により、実際の利回りは記載の水準から変動する可能性があります)

\*1 総還元性向は、FY2023 (298.9%)、FY2024 (246.4%)、FY2025 (154.7%) は実績、FY2026 (163.6%) は2026年5月14日時点の見込み

\*2 取締役会決議の年月    \*3 括弧内は発行済株式総数に対する割合

# 株主総会3週間以上前の有報開示の実現に向けて

- 招集通知の発送日から議決権行使期限までの期間はFY2025と同様の期間を確保
- 株主総会の開催時期を適切に設定する事により、株主の皆様との建設的な対話を促進するため、**株主総会の議決権基準日と配当基準日を9月30日から10月31日に変更する**
- 今後は株主総会を**毎年1月**に開催する事とし、**株主総会の3週間以上前に有価証券報告書を提出する方針**
- 上記基準日の変更に伴い、株主優待の基準日も10月31日とする



# 今後の株式市場との対話方針

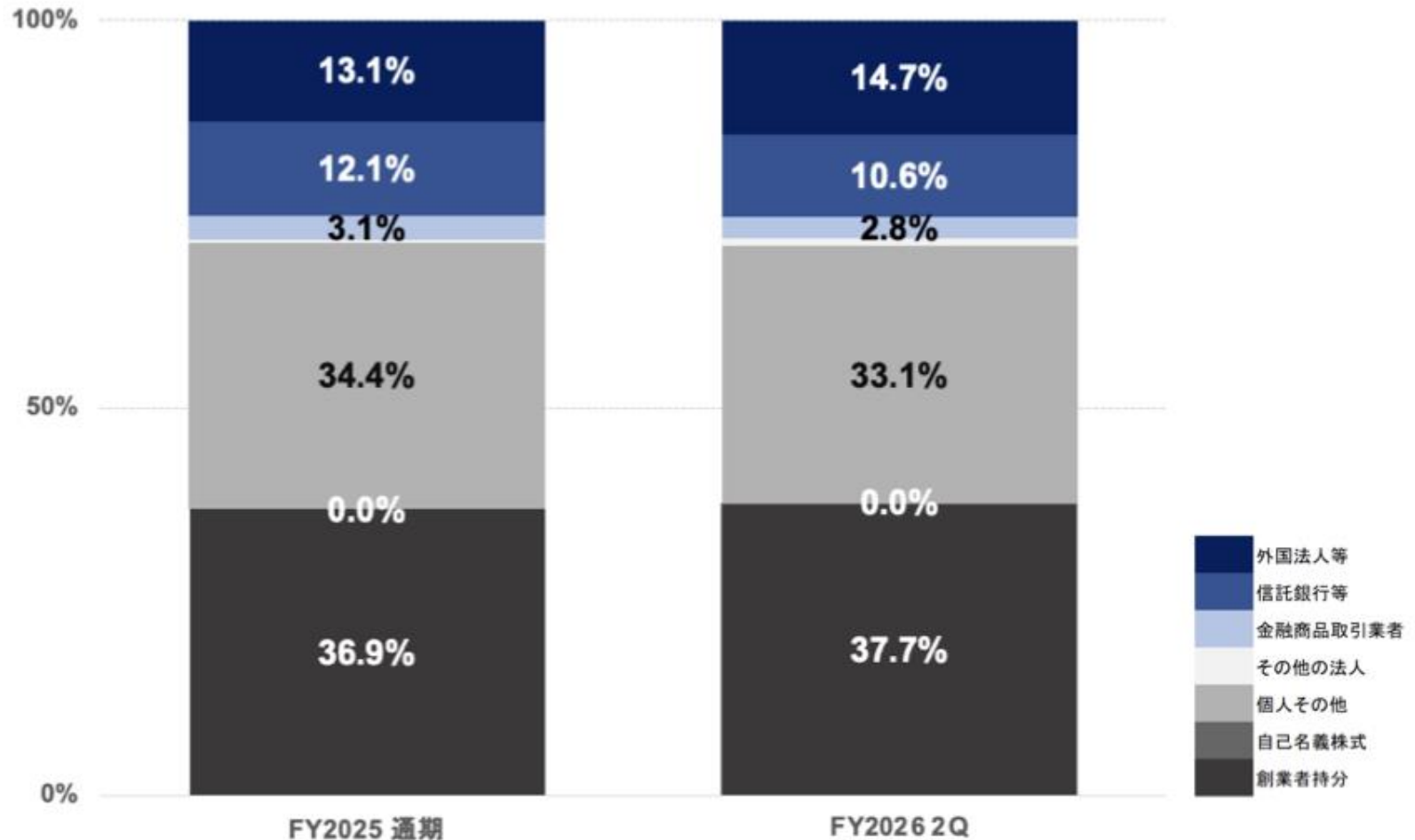
- 国内外の機関投資家（ファンドマネージャー、アナリスト、議決権行使担当者等）、証券会社のアナリスト、そして個人投資家の皆様との双方向の対話を重視
- これまでも積極的に投資家の皆様との面談を実施。今後もその取り組みを強化し、より深く当社をご理解頂くため、更なる対話の機会を創出する方針

## 個人投資家向け説明会の今後の予定

開催日	開催形態	主催
2026年1月8日（木）	オンライン開催	野村インベスター・リレーションズ株式会社
2026年1月14日（水）	オンライン開催	マネックス証券株式会社
2026年5月17日（日）	オンライン開催	大和インベスター・リレーションズ株式会社
2026年8月18日（火）	オンライン開催	マネックス証券株式会社
2026年8月19日（水）	オンライン開催	野村インベスター・リレーションズ株式会社
2026年8月29日（土）	会場開催	大和インベスター・リレーションズ株式会社

# 株主構成

機関投資家比率は概ね同水準で推移。海外投資家比率は1.6pt上昇



# :Atrae

会社名	株式会社アトラエ
主な事業内容	成功報酬型求人メディア「Green」の運営 組織力向上プラットフォーム「Wevox」の運営 ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」の運営 その他新規事業の企画・開発
設立年月日	2003年10月24日
代表者	代表取締役 新居 佳英
正社員数	134名（2026年3月末）
資本金	565百万円（2026年3月末）
所在地	東京都港区麻布十番一丁目10番10号

本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合でも、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績などは、様々な要因の変化により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承下さい。



:Atrae